



【HA】地域歯科保健活動		歯科衛生学科		3年前期		
		1単位	必修	実習	45時間	
教員	久本 たき子・川島 智子・今井 藍子					
資格・制限等	特になし					
実務家教員	久本：歯科医院・口腔保健センター歯科衛生士・6年 今井：歯科医院歯科衛生士・10年					
授業内容	この授業では、地域住民の日常生活をよりよい方向へ導くために必要な地域歯科健康教育の知識・技術を修得します。特に、地域歯科保健活動Iで学習した内容を地域の小学校において実際に歯科健康教育を実施し、地域歯科保健活動について学びを深めていきます。また、2014年に「医療介護総合確保推進法」が可決され「地域包括ケアシステム」の構築が謳われています。そのシステムのなかで、地域における歯科衛生士の役割も検討していきます。					
授業方法	グループ演習・実習が中心となる集団活動です。					
到達目標	知識・理解	1. 地域歯科健康教育実習の準備学習から、小学生に対する歯科保健指導の実施内容について説明できる。 2. 地域包括ケアシステムにおける多職種連携と歯科衛生士の役割について考える。				
	技能	集団へのブラッシング指導技術とプレゼンテーション力を身につける。				
	関心・意欲・態度	医療人としての身だしなみを整え、自己管理ができる。				
	備考	・ ・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。				
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法					
	筆記試験	65	-	-	-	65
	実技試験	-	-	10	-	10
	グループ発表	-	-	5	-	5
	小テスト	5	-	-	-	5
	受講態度	-	-	-	15	15
合計(点)	70	-	15	15	100	
評価の特記事項	受講態度は、学修への取組を含みます。					
テキスト						
参考書・教材	『新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論』、『最新歯科衛生士教本保健生態学第2版』医歯薬出版は、既に購入済。授業で使用するテキスト等は、掲示で確認してください。また、必要に応じプリントを配付します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	地域歯科健康教育演習 教育目標・教育内容に合った原稿と媒体であるかを確認する。地域における歯科健康教育を行なう場合の注意点について学ぶ。 [課題(復習)]地域における歯科健康教育を行なう場合の注意点についてまとめる。(0.5h)					
2	地域歯科健康教育演習 地域における歯科健康教育を行なう注意点に留意し、練習する。 [課題(復習)]授業で練習した内容で技術的に不足している項目を練習する。(0.5h)					
3	地域歯科健康教育演習 地域における歯科健康教育を行なう注意点に留意し、グループ練習をする。 [課題(復習)]授業で練習した内容で技術的に不足している項目をまとめる。(0.5h)					
4	地域歯科健康教育演習 地域における歯科健康教育を行なう注意点に留意しながら、グループ発表をする。 *担当教員のチェック [課題(復習)]担当教員による指導項目について練習し、プレゼンテーション力を向上する。(0.5h)					
5	地域歯科健康教育演習 地域歯科健康教育を行なう注意点に留意しながら、予行演習に向けて仕上げ練習をする。 *担当教員のチェック *実習先小学校教諭との事前打合せ会用の計画書を作成する。 [課題(復習)]担当教員による指導項目を練習する。(1h)					
6	地域歯科健康教育予行演習 地域歯科健康教育演習 ~ の課題について確認する。現場を想定して予行演習を行なう。*担当教員のチェック *実習先小学校教諭との事前打合せ会の実施(リーダー・サブリーダー) [課題(復習)]担当教員による指導された項目の改善点を考え練習する。(1h)					
7	地域歯科健康教育予行演習 現場を想定して予行演習を行なう。 *学内発表 *実習先小学校教諭との事前打合せでの内容をグループ内で共有する。 [課題(他)]予行演習の内容に関する担当教員からの指導項目を確認する。(1h)					
8	地域歯科健康教育予行演習 現場を想定して予行演習を行なう。*担当教員のチェック ブラッシング指導(集団)の教員に発表する(実技試験)。 [課題(復習)]現場を想定した予行演習の内容に関する指導項目を確認する。(1h)					
9	地域歯科健康教育予行演習 改善点を確認し現場を想定した予行演習と実習当日の準備物を確認する。 *担当教員の確認チェック [課題(復習)]現場を想定した予行演習の内容に関する指導項目を確認し練習する。(1h)					
10	地域歯科健康教育予行演習 改善点を確認し現場を想定した予行演習と実習当日の準備物の最終確認を行なう。 *担当教員の最終確認チェック [課題(復習)]現場を想定した予行演習の内容に関する指導項目を確認し練習する。(1h)					
11	地域歯科健康教育予行演習 ~ の課題を確認する。 グループワーク：地域包括ケアシステムにおける多職種連携について学び、多職種と歯科衛生士の連携について討論し発表する。また、2,3年合同の発表練習と資料作成を行なう。*担当教員のチェック [課題(復習)]次回の発表原稿を暗記し2年生への助言内容とグループワークで学んだ事をまとめる。(1h)					
12	学内発表 小学校歯科健康教育実習におけるグループ発表を学内で再現し、集団指導における注意事項等を2年生に申し送る。また、前回のグループワークに関する小テストを実施する。 [課題(復習)]これまでの地域歯科保健活動を受講した学びについて、知識の整理をする。(1h)					
時間外での学修	授業時間外での個人練習も必要です。積極的に練習を積み重ねていってください。[課題]は授業の到達目標に必要な内容ですので、( )の標準学修時間をめどにして、授業外で確実に学修を進めましょう。【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：10時間】					

受講学生への メッセージ	グループ活動が中心となるため、グループ内の協力が重要となります。授業には積極的に参加し、自らの知識・技術の向上を目指すことを期待しています。 オフィスアワーは、久本：木曜日5時限、研究室（G304：G号館3F）今井：木曜日5時限（G404：G号館4F）川島：木曜日5時限、研究室（G405：G号館4F）です。
-----------------	---

【HA】 審美歯科		歯科衛生学科		3年前期			
		1単位	選択	演習	30時間		
教員	水嶋 広美						
資格・制限等	特になし						
実務家教員							
授業内容	近年、口腔の美しさへの要望が高まり、歯科衛生士の臨床においても健康の回復・維持のみならず、審美性への配慮が強く求められている。この授業では、診療補助の精度の向上や、基本的な治療技術あるいは器材に関する知識などに焦点を向け、審美歯科領域における歯科衛生士の役割の重要性について学んでいく。						
授業方法	講義にて知識や手技の要領を理解し、実習を中心に行っていきます。審美歯科専門医をゲストに実践的な実習も入れながら、ホワイトニングの技術、知識を身につけていきます。						
到達目標	知識・理解	1. 審美歯科領域における、歯科衛生士の役割について述べる。 2. 口腔筋機能療法の活用と効果を理解し、その訓練法を説明しながら実施する。 3. 矯正歯科、インプラント治療における審美歯科としての役割について述べる。 4. ホワイトニングの種類とその適応、使用器材を説明する。 5. ホワイトニングの前準備からアフターケアまでの手順を理解し説明、実施する。					
	技能	ホームホワイトニングに使用する、カスタムトレーの制作方法に取り組むことができる。					
	関心・意欲・態度	実習ごとに課題レポート作成に取り組むことで、審美歯科について関心を持ち、積極的学修に取り組むことができる。					
	備考	・ ・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	筆記試験		60	-	-	-	60
	レポート		-	-	10	10	20
	製作物		-	-	10	-	10
	受講態度		-	-	-	10	10
合計(点)		60	-	20	20	100	
評価の特記事項	筆記試験、受講態度、レポート作成、提出状況も含めて総合的に評価します。						
テキスト	『最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常2 歯科矯正』医歯薬出版株式会社 2年次に購入済(3,300円) ISBN:978-4-263-42825-2 『最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常1 歯科補綴』医歯薬出版株式会社 2年次に購入済(3,300円) ISBN:978-4-263-42822-1 『最新 歯科衛生士教本 歯科機器』医歯薬出版株式会社 2年次に購入済(3,520円) ISBN:978-4-263-42850-4 『最新歯科衛生士教本 歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法』医歯薬出版株式会社 2年次に購入済(4,620円) ISBN:978-4-263-42820-7						
参考書・教材	参考書：『歯科衛生士ベーシックスタンダード ホワイトニング』 医歯薬出版 その他資料は適宜、配付します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	審美歯科領域における歯科衛生士の役割(矯正治療時の補助・介助 口腔筋機能療法の種類と方法) [課題(復習)]矯正器具の名称と用途・口腔筋機能療法について内容を復習してまとめる(2h)						
2	ホワイトニングについて(ホワイトニングの種類と基礎知識について) ホワイトコート知識、手順を学び、実際に実習を行う。 [課題(復習)]ホワイトコートの種類、手順、薬剤・器材の取り扱いを復習しまとめる(2h)						
3	ホワイトニングに必要な作業用模型の作製(使用するトレーを作製するための模型作製の相互実習) [課題(復習)]ホワイトニングに必要な作業用模型の作製手順を復習してまとめる(2h)						
4	ホワイトニングのメカニズム、手順、ホワイトニング後の評価と指導について学ぶ。(1回～3回の課題の確認) ホームホワイトニングについて(ホームホワイトニングの前準備と手順、マウストレ 作製について実習) 矯正器具の取り扱いについて、実習を行う。 [課題(復習・他)]ホームホワイトニング、矯正器具の使用方法について復習しまとめる(2h)						
5	ホワイトニング実践(外部講師) 歯の色の測定法、オフィスホワイトニング・ホームオホワイトニングの実践と使用器材とその手順について [課題(復習)]ホワイトニングの実習内容を復習してまとめる(2h)						
6	審美歯科領域におけるメンテナンス 審美性を維持・向上させるためのハイジニストワークの重要性について [課題(復習)]審美性を維持・向上させるためのハイジニストワークについて復習してまとめる(2h)						
7	審美歯科領域におけるメンテナンス 審美歯科と歯科衛生士(知覚過敏の対処法、歯科矯正、インプラント、修復物と歯科衛生士の役割) [課題(復習)]審美歯科と歯科衛生士の役割について復習しまとめる(2h)						
8	審美歯科まとめ(5回～7回の課題の確認) [課題(復習)]授業で学んだ全体の内容について総合的なまとめと復習をする(2h)						
時間外での学修	授業の各回での課題の内容を確実に学修しましょう。レポートについては、内容の不備、誤字脱字のないようにしてください。【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間:15時間】						
受講学生へのメッセージ	外部講師の方の授業もあります。積極的な受講態度と授業のマナーを守った態度で受講してください。オフィスアワーは、研究室(G306:G号館3F)で毎週金曜日の16:20から17:00です。						

【HA】臨床・臨地実習		歯科衛生学科		3年前期			
		7単位	必修	実習	315時間		
教員	石川 隆義・小原 勝・海原 康孝・久本 たき子・阿尾 敦子・水嶋 広美・飯岡 美幸・今井 藍子・						
資格・制限等	未修得科目数による制限有り						
実務家教員							
授業内容	知識・技術を臨床の場で展開しつつあらゆる場面で応用できる能力が備わるように、各実習施設における実習を行う。実習施設は、歯科医院、保健センター、小学校、高等学校、高齢者通所施設である。さらに、多職種連携への理解を深めるとともに、歯科衛生士の役割についても学んでいく。						
授業方法	学外の各実習施設にて実習を行う。						
到達目標	知識・理解	地域の健康支援に関わる歯科衛生士の役割を述べ、専門的知識を修得する。					
	技能	症例に応じた器材を準備し歯科診療の介助を行い感染予防を実践し、対象に合わせた歯科保健指導を実施する。					
	関心・意欲・態度	1. 医療人として日常の自己管理に心がけ、主体的な学びから職業的使命感をもつことができる。 2. 毎月の臨床実習における学びと反省について自己評価を行い、担当教員に提出する。					
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	実習日誌		30	-	-	-	30
	各臨床実習施設の評価		-	-	50	-	50
	受講態度		-	-	-	15	15
	毎月の自己評価表提出率		-	-	-	5	5
合計(点)		30	-	50	20	100	
評価の特記事項	欠席・遅刻・早退した場合、補充を必ず課します。						
テキスト	実習日誌の作成には、1,2年生時に購入したテキストが必要になります。						
参考書・教材	特にありません。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
	<p>&lt; 第1週～第15週 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>臨床実習ガイダンス・臨地実習ガイダンスを受ける。</li> <li>実習施設は以下の通りである。</li> <li>歯科医院における実習</li> <li>保健センターにおける実習</li> <li>小学校における実習</li> <li>高等学校における実習</li> <li>高齢者通所施設における実習</li> <li>公衆衛生活動実習</li> </ul> <p>[ 課題 (予習・復習) ] 各実習施設での課題について、予習及び復習を行う。各施設実習 1～3h</p>						
時間外での学修	実習日誌の作成においては、専門用語を使用した内容で記述するようにします。常に教科書等で確認し、記述内容を知識として修得してください。毎月、学外実習に対する自己評価を自己評価表に記入し短大に提出します。自己の振り返りから改善点を見つけ、成長できるようにしましょう。手技・操作の未熟な点は、登校時に時間を有効活用し確実にしてください。また、保健センター実習や高齢者通所施設実習では、事前に他職種の業務について理解を深めておくようにします。【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：18時間】						
受講学生へのメッセージ	歯科医院実習では、必ず1週間の行動目標を立て、その目標達成のために努力を惜まず、積極的に実習に臨みましょう。常に実習生としての自覚ある行動をしてください。オフィスアワーは、各担当教員の時間帯になります。						

【HA】臨床・臨地実習		歯科衛生学科		3年後期			
		6単位	必修	実習	270時間		
教員	石川 隆義・小原 勝・海原 康孝・久本 たき子・阿尾 敦子・水嶋 広美・飯岡 美幸・今井 藍子・						
資格・制限等	未修得科目数による制限有り						
実務家教員							
授業内容	修得した臨床歯科医学を基に、歯科衛生士としてより実践的な知識、技術、態度を身につけられるように各実習施設における実習を行う。実習施設は、歯科医院、総合病院、介護老人福祉施設、特別支援学校等、専修クラスにより異なる。また、登校時に専修クラス別で事前学修及び事後学修を行う。						
授業方法	学外の各指定の実習施設にて実習する。						
到達目標	知識・理解	全身疾患の有無や生活習慣等の情報収集により、患者の問題点を抽出しその解決法について説明できる。また歯科医院で起こる偶発事故の原因と対処法を述べる。					
	技能	患者の安全に配慮した共同動作を実施し、症例に応じた器材を準備し、歯科診療の介助を行う。また、1年間の臨床実習の学びと反省点を報告し、次年度生に臨床実習に関する助言を行い、コミュニケーション能力を身につける。					
	関心・意欲・態度	医療人として日常の自己管理ができ、職業的使命感を持つことができる。					
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	実習日誌・レポート		35	-	-	-	35
	実習施設からの評価		-	-	40	-	40
	実習報告発表		-	-	5	-	5
	受講態度		-	-	-	20	20
合計(点)		35	-	45	20	100	
評価の特記事項	欠席・遅刻・早退した場合、補充を必ず課します。						
テキスト	レポートや日誌の作成には、1,2年生時に購入したテキストが必要になります。						
参考書・教材	特にありません。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
	<p>第1週～第8週</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習施設ガイダンス 各専修クラスのガイダンスを受ける。</li> <li>・各専修クラスでは、毎週登校時、事前学修・事後学修を受ける。 [課題(予習・復習)]各専修クラスでの事前・事後学修に関する予習・復習を行う。(8h)</li> <li>・総合病院専修クラス指定施設にて実習する。</li> <li>・専門的口腔ケア専修クラス指定施設にて実習する。</li> <li>・審美歯科専修クラス指定歯科施設にて実習する。</li> <li>・総合歯科専修クラス指定歯科施設にて実習する。 [課題(復習)]各専修クラスの指定施設で学んだ事について復習する。(8h)</li> </ul> <p>1年間に亘る臨床・臨地実習で成長した点と自己の課題について発表報告し次年度生に助言する。</p>						
時間外での学修	日誌や指示されたレポート作成は、専門性のある記述内容にするため必ず教科書等で確認し、記述内容が知識として修得するようにします。手技・操作で未熟な点は、登校時に積極的に自習して下さい。各実習施設における対象者の把握は、事前、事後にテキスト等で確認しておくようにすること。【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：16時間】						
受講学生へのメッセージ	臨床・臨地実習 ・ に修得できなかった実習項目は、この臨床・臨地実習 で積極的に修得するようにします。どの実習指定施設でも実習生としての自覚をもち、的確な判断力や行動力が養える努力をしましょう。オフィスパワーは、各担当教員の時間帯になります。						

【HA】臨床・臨地実習		歯科衛生学科		3年前期			
		1単位	選択必修	実習	45時間		
教員	石川 隆義・小原 勝・海原 康孝・久本 たき子・阿尾 敦子・水嶋 広美・飯岡 美幸・今井 藍子・						
資格・制限等	未修得科目数による制限有り						
実務家教員							
授業内容	総合病院の歯科・口腔外科における見学実習						
授業方法	総合病院の歯科・口腔外科において、口腔外科診療室を中心として見学実習を行う。						
到達目標	知識・理解	1. 有病患者に対する知識を備え、口腔外科の施術方法を列挙しその施術に必要な器具、器材の用途を述べる。 2. 感染予防に対する知識及び対処法や器具の消毒・滅菌方法を理解する。					
	関心・意欲・態度	医療人として日常の健康管理に心がけ、主体的な実習を行い自学自習ができる。					
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	実習日誌		30	-	-	-	30
	実習施設評価		50	-	-	-	50
	受講態度		-	-	-	10	10
	レポート提出状況		-	-	-	10	10
	合計(点)		80	-	-	20	100
評価の特記事項	欠席・遅刻・早退した場合、必ず補充を課します。						
テキスト	『顎・口腔粘膜疾患 口腔外科・歯科麻酔』医歯薬出版株式会社(3,740円)ISBN:978-4-263-42823-8 『臨床検査』医歯薬出版株式会社(2,420円)ISBN:978-4-263-42829-0						
参考書・教材	必要に応じ、1、2年生で購入したテキストを使用する。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
	1. 総合病院実習前のオリエンテーションを受ける。 2. 総合病院の歯科・口腔外科で5日間の見学実習を行う。 3. 前のグループからの申し送りと実習終了後のフィードバックを行う。 【課題(復習)】実習終了後学んだことをまとめるために、日誌を作成する。(5~10h)						
時間外での学修	総合病院での見学実習です。実習生として、安全に臨めるように知識・技術の復習を必ず行いましょう。また、事前に課題レポートを作成し、基礎知識を獲得し実習に臨んでください。 【この科目に求める望ましい授業外での総学修時間：10時間】						
受講学生へのメッセージ	学外実習は、理由を問わず欠席は認めません。欠席した日数は、必ず補います。各自健康管理には、十分気をつけてください。また、実習生という立場をわきまえて、謙虚な態度で実習に臨んでください。オフィスアワーは、各担当教員の時間帯になります。						

【HA】卒業研究		歯科衛生学科		3年前期		
		2単位	選択	演習	60時間	
教員	小原 勝・海原 康孝					
資格・制限等	特になし					
実務家教員	海原：歯科医師（大学病院勤務）・27年 小原：歯科医師（大学病院勤務）・15年					
授業内容	歯科衛生士として広い視野を持つためには、常に課題探求能力の養成が求められる。自ら学ぶべき課題に対し、科学的に分析された情報をもとに研究する能力を修得する事を目的とする。選択したテーマについて、教員の指導のもとに研究計画を立案し、研究を遂行する。成果を卒業研究発表会にてプレゼンテーションするとともに、卒業研究報告書を作成し、専門的な知識や技術等を身につけることを目的とする。					
授業方法	調査・研究の授業なので、図書館等にてテーマ選定や情報収集のため文献検索を行う。データの分析、処理はコンピューター室を使用し行う。研究成果をまとめ、プレゼンテーションを行う。					
到達目標	知識・理解	研究の目的、情報収集、文献検索、テーマ選択と卒業研究に関連する課題について、基本的な知識を理解できる。				
	思考・判断・表現	共同研究者とともに系統立てた計画に基づき、調査・研究に挑み、試行錯誤しながら課題の解決に向け、プレゼンテーションの場において、その成果を表現することができる。				
	技能	研究データの処理・分析、その結果を課題解決に結びつけて判断し活用することができる。				
	関心・意欲・態度	プレゼンテーション用の資料を積極的に学修しながら作成し、発表・質疑応答に取り組むことができる。				
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。				
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法					
	報告書作成	40	-	-	-	40
	発表（表現）	-	20	-	-	20
	発表（技能）	-	-	20	-	20
	受講態度	-	-	-	20	20
合計(点)	40	20	20	20	100	
評価の特記事項						
テキスト	なし					
参考書・教材	自分が選択したテーマにそって、図書館等で文献検索をして情報収集を行う。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	研究テーマについて考える。 【課題（準備）】卒業研究の目的について理解し、図書館、パソコン等で文献検索を行い、興味ある研究テーマをいくつか選択し、まとめる。(3~5h)					
2	研究テーマを決定する。 【課題（準備）】文献検索により情報収集を重ね、それを基に研究テーマを決定し、まとめる。(3~5h)					
3	研究計画を検討し策定する。 【課題（準備）】研究テーマに基づき、対象、方法、結果の予測について検討し、計画を立てる。(2~5h)					
4	研究計画を最終的に策定する。 【課題（準備）】調査対象・方法において、具体的に調査用紙等を作成しデータ収集のための準備をする。(3~6h)					
5	研究テーマを基に、研究データの収集を行う。 【課題（準備）】研究倫理に従い、インフォームド・コンセントのもと調査対象者等に対してデータ収集を実施する。(4h)					
6	1回~5回までの課題を確認する。 収集した研究データの整理を行い、まとめる。 【課題（準備）】データの整理を行い、パソコンにデータの入力を行う。(2~4h)					
7	収集した研究データを分析し、まとめる。 【課題（準備）】入力データに対して、統計学的処理を行い、データ分析を行う。(3~6h)					
8	前回に続き、研究データの分析を行い、まとめる。 【課題（準備）】研究データ分析の結果をもとに、他文献と比較し様々な角度からの分析の必要性について検討する。(3h)					
9	分析結果を検討し、まとめる。 【課題（準備）】データ分析の結果を、研究目的と照らし合わせながらまとめ、結論を導く。(3~6h)					
10	プレゼンテーション用資料の作成を行う。 【課題（準備）】パワーポイントを使用し、研究目的、対象、方法等の資料作成を行う。(3~6h)					
11	6回~10回までの課題を確認する。 前回、作成した資料を基に検討し、プレゼンテーション用資料の完成に向けまとめる。 【課題（準備）】パワーポイントを使用し、結果についてグラフや表などの資料作成を行う。(3~6h)					
12	プレゼンテーション用資料をまとめ、完成させる。 【課題（準備）】パワーポイントを使用し発表全体の資料を完成させ、発表原稿を作成する。(3~6h)					
13	研究報告書の内容を検討し、報告書の作成を行う。 【課題（準備）】緒言、対象、方法、結果について論文形式で報告書の作成を行う。(3~4h)					
14	前回作成した研究報告書を再度検討し、次回の完成に向けてまとめる。 【課題（準備）】先行文献と比較検討して考察を行い、結論、参考文献に記載をする。(4h)					
15	11回~14回までの課題を確認する。 研究報告書について重ねて検討し、完成させる。 【課題（準備）】研究報告書全体を見直し、内容、体裁ともに確認をして完成させる。(3~6h)					



時間外での学修	各回の卒業研究の課題に対して、図書館やパソコン等で文献検索や情報収集を行い、発表、報告書の作成に至るまでの準備学修をしてください。わからない点、疑問点は自ら調べ、解決への努力をしてください。自分で調べても問題解決できない場合は、研究室を訪ねてください。【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：41時間】
受講学生へのメッセージ	将来、広い視野と課題解決能力を持った歯科衛生士となるために、自らが積極的に卒業研究に取り組んでください。また、質問して解決することも必要です。オフィスアワーは研究室（海原G206、小原G205：G号館2F）で毎週木曜日の16:20～17:30です。

【HA】 歯科総合演習		歯科衛生学科		3年前期		
		1単位	必修	演習	30時間	
教員	石川 隆義・小原 勝・海原 康孝・久本 たき子・阿尾 敦子・水嶋 広美・飯岡 美幸・今井 藍子・					
資格・制限等	未修得科目数による制限有り					
実務家教員						
授業内容	歯科衛生士国家試験に関わる科目について、1年、2年時に学んだ事項を復習し総括する。また、問題演習などにより各科目への理解を深め、歯科衛生士国家試験に必要な知識を身につけるよう進める。なお、前期では専任教員全員が担当する科目を中心とした演習を行う。					
授業方法	各科目担当教員が作成した歯科衛生士国家試験に沿った問題を解き、それを基に質疑応答を加えながら解説を行い、理解が深まるよう進める。					
到達目標	知識・理解	1.これまで学習した口腔保健分野科目に関する内容を復習し、総括する。 2.問題演習などにより、口腔保健分野科目への理解と応用力を深め、そして知識を高める。 3.問題演習などにより、専門基礎・臨床歯科医学分野科目への理解と応用力を深め、知識を高める。				
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。				
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法					
	筆記試験	100	-	-	-	100
	合計(点)	100	-	-	-	100
評価の特記事項						
テキスト	『歯科衛生士のための主要3科+専門分野問題集 第3版』全国歯科衛生士教育協議会編集 一般社団法人口腔保健協会(3,300円) ISBN: ISBN:978-4-89605-344-9					
参考書・教材	各科目で使用したテキストを使用します。必要な資料は適宜配付します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	保存修復学についての重要事項を述べる。(担当:海原) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
2	歯内・歯周病学についての重要事項を述べる。(担当:海原) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
3	歯科補綴学についての重要事項を述べる。(担当:海原) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
4	歯科予防処置(1):予防的歯石除去についての重要事項を述べる。(担当:今井) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
5	歯科予防処置(2):う蝕予防処置などについての重要事項を述べる。(担当:阿尾) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
6	歯科矯正学についての重要事項を述べる。(担当:石川) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
7	小児歯科学についての重要事項を述べる。(担当:石川) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
8	1回~7回までの課題を確認する。 口腔外科学についての重要事項を述べる。(担当:小原) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
9	障がい者歯科学についての重要事項を述べる。(担当:海原) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
10	歯科診療補助(1):臨床検査、保存・口腔外科の治療時についての重要事項を述べる。(担当:水嶋) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
11	歯科診療補助(2):歯科材料の種類と取り扱いについての重要事項を述べる。(担当:飯岡) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
12	歯科診療補助(3):感染症についての重要事項を述べる。(担当:藤澤) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
13	歯科保健指導(1):保健指導の基礎についての重要事項を述べる。(担当:川島) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
14	歯科保健指導(2):食事指導法、在宅訪問歯科指導に関する重要事項を述べる。(担当:久本) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
15	8回~14回までの課題を確認する。 高齢者歯科学についての重要事項を述べる。(担当:久本) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
時間外での学修	各授業で学んだ内容はその日のうちに復習し、理解しにくい点や疑問点があれば必ず担当教員に質問し、早期に解決するようにして下さい。また、決められた課題は必ず期限までに行い提出して下さい。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間:15時間】					
受講学生へのメッセージ	歯科衛生士国家試験の対策のためには、できるだけ多くの問題に触れ、それらを繰り返し学修することが重要です。毎日学修に取り組む習慣を身につけて下さい。 オフィスアワーは、各科目の先生方の時間になります。					

【HA】 歯科総合演習		歯科衛生学科		3年後期		
		1単位	必修	演習	30時間	
教員	石川 隆義・小原 勝・海原 康孝・久本 たき子・阿尾 敦子・水嶋 広美・飯岡 美幸・今井 藍子・					
資格・制限等	未修得科目数による制限有り					
実務家教員						
授業内容	歯科衛生士国家試験に関わる科目において1年、2年時に学んだ事項を復習し、総括するとともに、問題演習などによってそれぞれの科目への理解と応用力を深め、歯科衛生士国家試験に対応する知識を身につけるよう進める。 尚、後期においては専任教員および非常勤講師全員で歯科衛生士国家試験に関わる全科目の授業を行う。					
授業方法	各科目担当教員が作成した歯科衛生士国家試験に沿った問題を解き、それを基に質疑応答を加えながら解説を行い、理解が深まるよう進める。					
到達目標	知識・理解	1.口腔保健分野科目においてこれまで学んだ事項を復習し、総括する。 2.問題演習などにより、口腔保健分野科目への理解と応用力を深め、そして知識を高める。 3.専門基礎・臨床歯科医学分野科目においてこれまで学んだ事項を復習し、総括する。 4.問題演習などにより、専門基礎・臨床歯科医学分野科目への理解と応用力を深め、そして知識を高める。				
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。				
観点別評価	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法					
	筆記試験	100	-	-	-	100
	合計(点)	100	-	-	-	100
評価の特記事項	筆記試験の合格は、6割5分以上とします。					
テキスト	『徹底分析！年度別 歯科衛生士国家試験問題集 2021年度版』歯科衛生士国試問題研究会編 医歯薬出版(4,070円)ISBN:978-4-263-42091-1 『歯科衛生士のための主要3科+専門分野問題集 第3版』全国歯科衛生士教育協議会編 一般社団法人口腔保健協会(3,240円)ISBN:978-4-89605-344-9					
参考書・教材	1年、2年時において学んだ歯科衛生士国家試験に関わる全ての科目の歯科衛生士教本。必要な資料は適宜配付します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	解剖学、口腔外科・歯科麻酔学、生化学についての重要事項を述べる。(担当：小原) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
2	小児・矯正歯科学、病理学についての重要事項を述べる。(担当：石川) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
3	生理学(担当：南)、口腔生理学(担当：糸尾)についての重要事項を述べる。 [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
4	微生物学についての重要事項を述べる。(担当：小原) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
5	薬理学についての重要事項を述べる。(担当：坂井) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
6	口腔衛生学についての重要事項を述べる。(担当：塚本) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
7	衛生学・公衆衛生学、衛生行政社会福祉学についての重要事項を述べる。(担当：小原・北嶋) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
8	1回～7回までの課題を確認する。 歯科予防処置(1)：歯周病学、予防的歯石除去についての重要事項を述べる。(担当：今井) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
9	歯科予防処置(2)：う蝕予防処置などについての重要事項を述べる。(担当：阿尾) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
10	歯科臨床概論、保存修復学・歯内療法学・歯周病学、歯科補綴学、障がい者歯科についての重要事項を述べる。(担当：海原) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
11	歯科診療補助(1)：歯科衛生士概論、臨床検査、保存・口腔外科の治療時についての重要事項を述べる。(担当：水嶋) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
12	歯科診療補助(2)：歯科材料の種類と取り扱いについての重要事項を述べる。(担当：飯岡) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
13	歯科診療補助(3)：感染症についての重要事項を述べる。(担当：藤澤) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
14	歯科保健指導(1)：保健指導の基礎についての重要事項を述べる。(担当：川島) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
15	8回～14回までの課題を確認する。 歯科保健指導(2)：栄養学、高齢者歯科学、についての重要事項を述べる。(担当：久本) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
時間外での学修	各授業で学んだ事項はその日のうちに復習し、理解しにくい点や疑問点がある場合はオフィスアワー等を活用して担当教員を尋ね、早期に解決しましょう。夏季休暇直前に全員が購入する問題集(2冊)を夏季休暇中に自学自習し終えるようにしてください。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：15時間】					
受講学生へのメッセージ	国家試験に合格するために『テキスト』の項目に挙げた2冊の問題集を、夏季休暇中に計画を立て学修して下さい。問題に触れることでより理解力するようにして下さい。 オフィスアワーは、各科目の先生方の時間になります。					

【HA】 歯科医学特講		歯科衛生学科		3年後期			
		1単位	選択	演習	30時間		
教員	石川 隆義・小原 勝・海原 康孝・久本 たき子・水嶋 広美・飯岡 美幸・今井 藍子・藤澤 さち子						
資格・制限等	特になし						
実務家教員							
授業内容	歯科衛生士国家試験に関わる歯科医学関連科目において1年、2年時に学んだ事項を復習し、総括するとともに、問題演習などによってそれぞれの科目への理解と応用力を深め、歯科衛生士国家試験に対応する知識をアクティブ・ラーニングを活用して身につけるよう進める。						
授業方法	各科目担当教員が作成した歯科衛生士国家試験に沿った問題を解き、それを基に質疑応答を加えながら解説を行い、理解が深まるよう進める。						
到達目標	知識・理解	1. 歯科医学分野科目においてこれまで学んだ事項を復習し総括する。 2. 問題演習などにより、歯科医学分野科目への理解と応用力を深め、歯科医学に関する知識を高める。					
	備考	・ ・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価の観点		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	評価方法						
	課題プリント		100	-	-	-	100
	合計(点)		100	-	-	-	100
評価の特記事項							
テキスト	『歯科衛生士のための主要3科+専門分野問題集 第3版』全国歯科衛生士教育協議会 一般社団法人口腔保健協会(3,300円) ISBN: ISBN:978-4-89605-344-9						
参考書・教材	必要な資料は授業で配付します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	歯科医学関連科目についての重要事項を述べる。(担当:石川・小原・海原・水嶋・飯岡・藤澤) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)						
2	歯科医学関連科目についての重要事項を述べる。(担当:石川・小原・海原・水嶋・飯岡・藤澤) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)						
3	歯科医学関連科目についての重要事項を述べる。(担当:石川・小原・海原・水嶋・飯岡・藤澤) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)						
4	歯科医学関連科目についての重要事項を述べる。(担当:石川・小原・海原・水嶋・飯岡・藤澤) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)						
5	歯科医学関連科目についての重要事項を述べる。(担当:石川・小原・海原・水嶋・飯岡・藤澤) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)						
6	歯科医学関連科目についての重要事項を述べる。(担当:石川・小原・海原・水嶋・飯岡・藤澤) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)						
7	歯科医学関連科目についての重要事項を述べる。1-7回目までの課題の確認。 (担当:石川・小原・海原・水嶋・飯岡・藤澤) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)						
8	歯科医学関連科目についての重要事項を述べる。(担当:石川・小原・海原・久本・川畠) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)						
9	歯科医学関連科目についての重要事項を述べる。(担当:石川・小原・海原・久本・川畠) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)						
10	歯科医学関連科目についての重要事項を述べる。(担当:石川・小原・海原・久本・川畠) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)						
11	歯科医学関連科目についての重要事項を述べる。(担当:石川・小原・海原・久本・川畠) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)						
12	歯科医学関連科目についての重要事項を述べる。(担当:石川・小原・海原・久本・川畠) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)						
13	歯科医学関連科目についての重要事項を述べる。(担当:石川・小原・海原・久本・川畠) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)						
14	歯科医学関連科目についての重要事項を述べる。(担当:石川・小原・海原・久本・川畠) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)						
15	歯科医学関連科目についての重要事項を述べる。8-15回目までの課題の確認テストを実施。 (担当:石川・小原・海原・久本・川畠) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)						
時間外での学修	各授業で学んだ事項はその日のうちに復習し、理解しにくい点や疑問点がある場合はオフィスアワー等を活用して担当教員を尋ね、早期に解決しましょう。全員が購入する問題集に取り組み、繰り返し復習してください。【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間:15時間】						
受講学生へのメッセージ	国家試験に合格するために『テキスト』の項目に挙げた問題集について計画を立て学修して下さい。問題に触れることでより理解力するようにして下さい。オフィスアワーは、各科目の先生方の時間になります。						